心臓カテーテル検査(2泊3日・大腿穿刺)を受けられる患者さんへ

患者氏名：　　さん 主治医名：　　担当医名：　　受け持ち看護師名：

月日(日時)	／	／			／
経過(病日等)	入院	検査当日(検査前)	検査当日(検査中)	検査当日(検査後)	退院
達成目標	・検査の必要性を理解し検査を受けることに同意できる。 ・検査を受ける準備ができる。	・不安なく検査を受けることができる。	・合併症がなく検査がスムーズに終了する。 ・検査終了まで仰臥位が維持できる。	・穿刺部からの出血がない。 ・検査後の安静度を守ることが出来る。 ・不整脈がない。	退院基準 ・出血がない。 ・不整脈がない。
治療・薬剤(点滴・内服)リハビリ	・持参した内服薬を入院時に確認させていただきます。 ・内服薬に変更がある場合は説明します。	・抗生剤(セフカペンピボキシル塩酸塩)の内服薬が2日間のみ開始になります。 ・主治医より内服薬中止の指示がない場合は絶食ですが内服して下さい。	・点滴を行います。 	・帰室後も点滴は継続してあります。 ・問題なければ(　　：　　)ごろまでに終わります。 ・検査後より内服薬があれば内服していただきます。	
処置	・ソケイ部の毛剃りと足背動脈にマーキングをさせていただきます。	・検査着に着替えて前張りをします。	・検査室に入室後、検査台で仰向けになり血圧計や心電図を装着します。		・医師が穿刺部の消毒を行います。
検査	・採血・採尿・胸部レントゲン・心電図	・(　　：　　)検査室へストレッチャーで行きます。		・21:00心電図モニターを装着します。ステントを留置した場合、帰室後に心電図をとり、その後心電図モニターを装着します。	
活動安静度	・病院内は自由です。(医師の指示により変更になることがあります)		・検査終了時より止血のために砂のうを乗せます。穿刺した足は動かさないようにしてください。	・帰室3時間後(　　：　　)に砂のうを除去します。帰室6時間後に看護師の介助で側臥位が可能です。主治医の許可があるまでベッド上安静が必要です。	・医師による安静解除後に病棟内フリーとなります。
食事	・心臓食	・検査が午前からの場合は朝食を、午後からの場合は昼食が絶食になります		・帰室後より寝たまま食事を食べることができます。造影剤を使用しているので水分は多めに取りましょう。	・安静解除がすんでいれば起きて食事を取ることができます。
清潔	・入浴ができます 			・入浴できません。安静解除後であれば温かいタオルで体を拭くことはできます。	・シャワー浴ができます。
排泄	・検査当日尿道カテーテルを留置するか相談させていただきます。	・尿道カテーテルを留置します。希望されない場合は検査室へ尿器を持っていきます。	・検査中、尿道カテーテルを留置していない場合、尿器で排尿します。尿意があれば看護師にお伝え下さい。	・排便時には差し込み便器を使用します。尿道カテーテルを使用していない場合は尿器にて介助します。安静解除が済めば尿道カテーテルを抜きます。	
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	・主治医より治療について説明後、入院診療計画書と治療の同意書の提出をお願いします。 ・栄養師より栄養指導があります。 ・看護師より検査についてオリエンテーションがあります。 ・退院後の生活についてパンフレットを用いて説明を行います。 ・検査中に使用するバスタオルを1枚用意してください。		・検査中も検査室の看護師、医師と会話ができます。何かあれば動かず看護師にお伝え下さい。	・検査結果について主治医より説明があります。 ・必要時、退院までに薬剤指導があります。	・次回診察予約があれば予約券を渡します。 ・退院時に処方や紹介状があればお渡しします。

注1　病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2　入院期間については現時点で予想される期間です。

神戸医療センター　循環器科　2013. 3月承認